

「令和3年度に実施した仕事」の振返りシート（B：裁量無及びその他）

記入日 令和 4 年 4 月 1 日

事業名称		監査委員運営費〔監査事務〕									
予算科目	款	2	総務費	項	6	監査委員費	目	1	監査委員費	事業番号	2
事業の種別		☒ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せなし) ☐ 課内庶務等 ☐ 休止したもの ☐ 廃止したもの									
担当部署・課長名		監査委員事務局				監査		係		課長名	
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号		行 - 2	
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現								総合計画書 (ページ)		122	
1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。				① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	東大和市の行財政				市が行う全事務事業(事務分掌合計数)						
	→										
	② ①をどのような状態にしたいのですか。〔簡潔に〕				② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
行財政が適正に執行、運営される。				決算等審査及び定期監査等により、行財政が適正に執行されていることを確認できた事業数/全事務事業数							
→											
③ そのために何をしましたか。				③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)							
実施した監査・検査・審査の種類 ①定期監査 ②財政援助団体等監査 ③例月出納検査 ④決算等審査 ⑤健全化判断比率等審査 ⑥工事監査				①定期監査 9課 ②財政援助団体等監査 1回 ③例月出納検査 12回 ④決算等審査 1回 ⑤健全化判断比率等審査 1回 ⑥工事監査 0回							
→											
2 指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標			
				平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度目標	令和5年度目標			
	対象指標	①の数値	件	682	685	686					
	成果指標	②の数値	%	100	100	100					
	目 標	②の目標値	%	100	100	100					
目標値設定の考え方(課内庶務、休止したもの、廃止したものを除く。)											
決算等審査及び定期監査等において、全ての行財政の執行状況等について確認を行う。											
活動指標	③の数値	① 課 ②~⑥回	① 13 ②~⑥ 15	① 8 ②~⑥ 15	① 9 ②~⑥ 15						
3 経費	事業費(実績)		円	2,834,320	3,182,555	3,420,542	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,250,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】令和2年度決算数値(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	2,831,297	3,178,757	3,416,271					
		特定財源	円	3,023	3,798	4,271					
		(うち受益者負担)	円								
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	2.0	2.0	1.0					
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	1.0					
		職員人件費(再任用以外)	円	16,620,000	16,760,000	8,250,000					
職員人件費(再任用)	円	0	0	4,031,000							
事業費+人件費		円	19,454,320	19,942,555	15,701,542						
4 課題	今後の課題(仕事の最適化・合理化の提案) ※廃止したものを除く										
	定期監査の実施に当たっては、監査の着眼点を基に委託や補助金等の支出や契約などの財務事務が適正に行われているか確認しているが、事務局が行う確認事務のマニュアル化やチェックリスト化を図り、平準化とともにより内容確認の充実を図っていく。										
5 今後の方向性	仕事の方向性(「4課題」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など) ※廃止したものを除く										
定期監査における事務局が行う確認事務についてマニュアル化やチェックリスト化を図り、事務の効率化を図る。											